

③令和元年度保健事業の実績及び令和2年度の取り組みについて

令和元年度保健事業の取組方針と実績

	平成30年度の課題	令和元年度の重点取組
1. 特定健診	未受診者対策 ①確実な未受診者への受診勧奨の促進 ②健診等検査データ提供者への対応ができていない	①治療状況も反映したデータ分析・対象者抽出業務の委託 ②健診等検査データ提供者への健康づくり情報の発信
2. 特定保健指導	未利用者対策 ①生活改善につながる動機づけ不足 ②保健指導の機会の充実	①自己血糖測定(リブレ体験)の導入 ②-1特定保健指導実施医療機関の増加 ②-2未利用者勧奨通知
3. 重症化予防	糖尿病対策 ①糖尿病発症予防対策 ②糖尿病治療中断者対策	①糖尿病予防相談日の設定 ②医療機関の糖尿病療養指導士による指導支援
4. がん検診	①受診率向上対策 ②精密検査未受診者対策	①-165歳全がん検診無料化 ①-2医療機関での大腸がん検診の実施 ②①-2と同様
5. 歯周病検診	①歯周病検診の機会の充実 ②精密検査未受診者対策	①-1医療機関での個別歯周病検診実施 ①-2集団検診の充実 ②①-1と同様

1. 特定健診

《令和元年度の取組》

【受診率向上対策・未受診者対策】

事業概要	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診しやすい体制 ・「歯と口の健康週間行事」との同時実施 ・「糖尿病週間行事」との同時実施	—	—	30人健診受診 41人健診受診
周知の強化 ・国保証送付時に健診勧奨チラシ同封 ・シルバー総会時に検診勧奨チラシ配布 ・商工会会報に折込	8,200通 — 2,000人	8,927通 100人 2,000人	8,826通 100人 2,000人
未受診者勧奨 ・未受診者へ健診勧奨ハガキ(圧着式) ・臨時職員等による健診勧奨訪問 ・国保連による健診勧奨電話	9,257通 100人 2,157人	9,299通 464人 1,024人	8,273通 1,432人 737人
医療機関における検査データ提供の強化	未受診者リスト配布		
新 未受診者リストの抽出・作成業務(データホライゾン委託)	—	—	新規事業
KAGA健幸ポイント(健診受診者のうち応募数)	69人	283人	206人

【国保被保険者への健診結果の分かりやすい情報提供】

取組	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新 検査データ提供者に対する健康づくり情報チラシ	—	—	健診結果に同封 1,161人
健診結果説明会	54会場 1,035人	63会場 907人	22会場※ 194人
健康相談	54会場 118人	63会場 109人	22会場 113人

※健診結果説明会の減少理由

これまで、健診結果は判定に関わらず健診結果説明会でお渡ししていたが、受診者へタイムリーに健診結果を届けることや、参加者の状況に応じた対応とした。結果、健診結果説明会の参加者の減少はあるも、健康相談の件数は横ばいである。

新 未受診者リストの抽出・作成業務(データホライゾン委託)

特定健診受診率向上や糖尿病重症化予防等のハイリスク者対策の強化を目的に、(株)データホライゾンの委託により、健診情報と複雑なレセプト情報(傷病名、検査、医薬品等)を突合し、本来の傷病状況が的確に反映された、多種多様なリストを作成。(特許技術である人工知能で解析)

これにより、保健事業に適さない人を除外し、確実な保健事業の対象者の抽出が可能となるため、業務の効率化とハイリスク者も含めた健診未受診者等訪問活動の充実を図る。

[現状・課題]

国保特定健診情報及び医療情報(レセプト)及び住民基本台帳を突合させた対象者リスト(下記①～⑥)を市職員が作成しているが、リスト作成に時間を要し、リストの不備等もあり保健事業に活かされていらない。

[委託内容(成果物)]

- ①医療機関別市内外医療機関にかかっている人で健診未受診者リスト(年3回)
- ②医療機関治療中における特定健診検査項目有無別リスト
- ③医療機関別糖尿病治療中の人で健診未受診者リスト
- ④健診履歴別健診未受診者リスト
- ⑤地区別健診未受診者リスト
- ⑥糖尿病治療中断者リスト

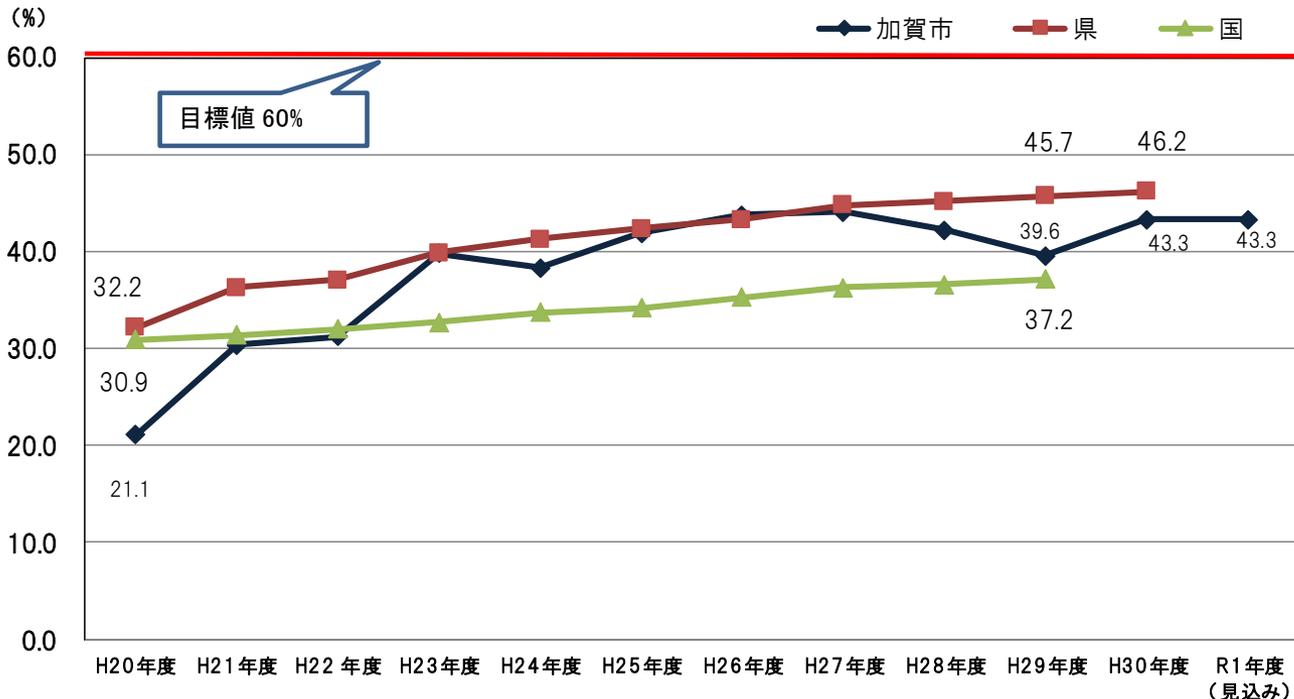
[効果]

糖尿病の重症化(合併症)を予防することで、心臓病等の入院費(1件400万円)、人工透析(年500万円/件)等の医療費の伸びを抑制する。

例)心臓病等の入院費400万以上実人数:2人、200万円以上:12人(H29)

糖尿病性腎症からの新規透析者実人数:14人(H28)

令和元年度特定健診受診率の推移



加賀市国保特定健診
対象者数
平成30年度: 12,214人
令和元年度: 11,722人

前年度と比べ、
受診率が横ばいである。

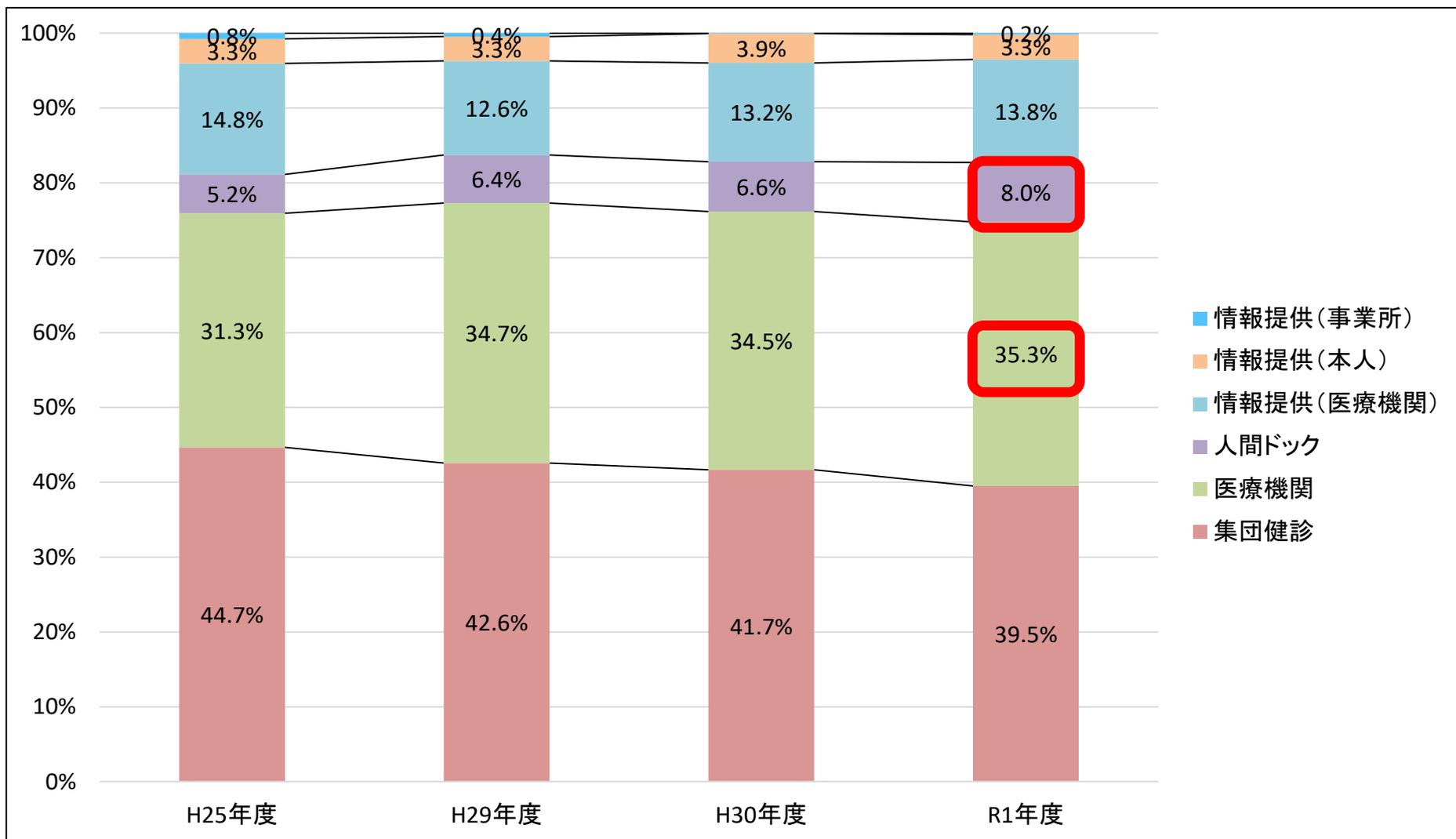
資料: 市国保特定健診法定報告

40歳・65歳（無料対象者）の特定健診受診率 ※1: 40歳を除いた40代 ※2: 65歳を除いた60代

	H30 40歳	R1 40歳	R1 40代※1	H30 65歳	R1 65歳	R1 60代※2
対象者数	106	118	1276	431	409	3,565
受診者数	29	32	223	214	203	1,509
受診率	27.4	27.1	17.5	49.7	49.6	42.3

40歳・65歳の特定健診受診率は、それぞれ同年代の40代(40歳を除く)・60代(65歳を除く)と比較して受診率が高い状況である。

特定健診受診者内訳の推移



資料:市国保特定健診保有数

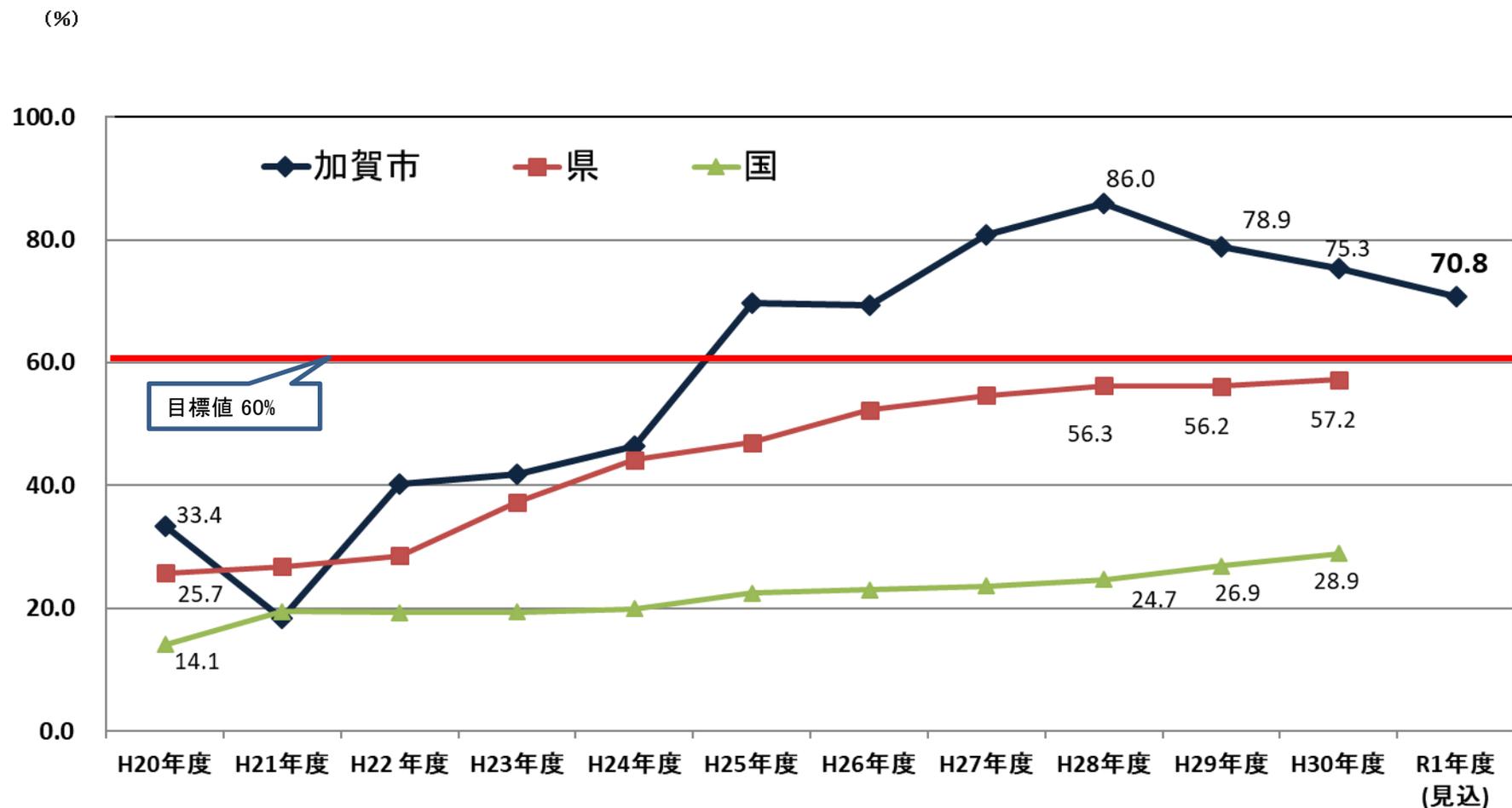
令和元年度は、医療機関健診及び人間ドック受診者の割合が大きくなっている。

2. 特定保健指導

《令和元年度の取組》

特定保健指導…特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門職が生活習慣を見直すサポートを行う。

特定保健指導実施率の推移



資料：市国保特定健診法定報告

加賀市は減少傾向ではあるが、国の目標値よりは高く、県・国と比べても高い。

特定保健指導実施率の内訳

	H29			H30			R1(R2.4.27時点見込)		
	対象者	終了者	終了割合	対象者	終了者	終了割合	対象者	終了者	終了割合
動機付け支援	296	266	89.9%	302	251	83.1%	269	200	74.3%
(内、医療機関)	13	6	46.2%	23	3	13.0%	19	19	100.0%
積極的支援	73	25	34.2%	91	45	49.5%	90	54	60.0%
(内、医療機関)	7	5	71.4%	10	0	0.0%	8	6	75.0%
計	369	291	78.9%	393	296	75.3%	359	254	70.8%

- ・令和元年度の実施率の低下は1～3月のコロナウイルス感染症の影響がある。
- ・専任者配置における特定保健指導により積極的支援の実施率が伸びている。
- ・医療機関における実施率が伸びてきている。

※動機付け支援は、初回面接が必須である。

積極的支援は、初回面接後、電話や手紙等で継続支援が可能である。

2. 特定保健指導

《令和元年度の取組》

【特定保健指導実施率向上対策】

	対策	H30	R1
タニタ食事体験	レストランさくら レストラン加賀	42人	55人
運動施設5回運動体験	いきいきランド・かが aimBS 山中ゆけむり健康村 ゆーゆー館 山中温泉ぬくもり診療所 温泉プール	41人	53人
新 自己血糖測定(リブレ)体験		—	14人
特定保健指導実施医療機関		1医療機関	5医療機関
新 未利用者勧奨通知		—	50通

特定保健指導実施医療機関

平成29年度：加賀市医療センター(1医療機関)

平成30年度：加賀市医療センター(1医療機関)

令和元年度：加賀市医療センター、石川病院、上田医院、岡部内科医院、塩浜医院(5医療機関)

令和元年度 メタボリックシンドローム予防・改善メニューの成果

対策	参加者	内訳(改善者)	
運動施設5回運動体験	53人 国保45人	体重減少または体脂肪率減少	23人 国保19人
自己血糖測定(リブレ)体験	国保14人	体重減少または体脂肪率減少	国保8人
KAGA健幸ポイントの応募	575人 国保217人	40ポイント付与者 (体重減少または腹囲減少等)	7人 国保7人



運動施設5回運動体験及びリブレ体験は、参加者の半数の方が改善した。
メタボ予防・改善メニューの活用による体重等の改善者数の増加を図るため、利用勧奨に努める。

令和2年度は、KAGA健食健歩手帳(日々の体重の値、血圧の値、自身の食事や運動の取組等の記録が可能な手帳)も活用して、メタボリックシンドローム改善に向けて取り組む。

3. 重症化予防対策

《令和元年度の取組》

事業概要	平成30年度	令和元年度
要医療判定値者への受診勧奨事業	865人 (勧奨率:17.0%)	751人 (勧奨率:16.3%)
新 医療機関未受診者への再勧奨通知	—	126通
医療機関と連携した保健指導	55人 (実施率:68.8%)	33人 (実施率:67.3%)
新 保健指導希望者への利用促進通知	—	14通
糖尿病管理台帳による継続		308人
新 定例糖尿病予防相談	—	18人
加賀市糖尿病協議会との連携		
事例検討会	3回	2回
新 治療中断者対策	—	3医療機関

重症化予防事業対象者について

(1) 未治療(下表全て)

(2) 治療中(下表のうち、心電図を除く)

(3) 糖尿病性腎症重症化予防

① 糖尿病未治療・治療中断でHbA1c6.5%以上のメタボ該当・予備群該当者

② 糖尿病治療中でHbA1c7.0%以上のメタボ該当・予備群該当者

項目	検査値	項目	検査値
収縮期血圧	160mmHg 以上	空腹時血糖	126mg/dl 以上
拡張期血圧	100mmHg 以上	随時血糖	180mg/dl 以上
尿蛋白	(++) 以上	HbA1c	6.5%以上
尿蛋白・尿潜血	ともに(+) 以上	LDL コレステロール	180mg/dl 以上
心電図	心疾患未治療者で心電図検査異常判定値		



**保健指導実施時の
糖尿病連携手帳活用 8件
おくすり手帳活用 3件**

▲加賀市糖尿病協議会では、糖尿病連携手帳の活用を推進している。

【令和元年度 実績】

	医療連携書発行数 A	医療連携返信数 B(割合B/A)	保健指導希望者数 C(割合C/B)	保健指導実施者数 D(割合D/C)	医療機関受診率 E(割合E/A)
未治療	476	193(43.3%)	25(10.2%)	15(60.0%)	431(90.6%)
治療中	176	87(48.6%)	13(14.9%)	8(61.5%)	
腎症予防	99	40(40.4%)	12(30.3%)	10(83.3%)	

令和元年度は未治療者・治療中者ともに約5割の者が医療機関へ医療連携書を持参し、治療につながった。また、33名の方に医療連携書を活用した保健指導を実施できた。

糖尿病治療中断者対策について

新 糖尿病治療中断者への指導支援試行事業の実施

【目的】

糖尿病性腎症による新規人工透析導入者数は近年増加しており、糖尿病性腎症の重症化予防が重要である。また、糖尿病治療中断者が重症化しやすいこともあるため、糖尿病療養指導士と市が連携して受診勧奨等を行う。

【実績】

糖尿病療養指導士が在籍する3医療機関(加賀市医療センター、久藤総合病院、板谷医院)において受診勧奨や現状把握等の支援を行った。

対象者		指導あり			指導なし			
		治療再開	治療継続	未受診	治療再開	治療継続	未受診	
40代	0							
50代	2	1	1		1			1
60代	2	1		1	1			1
70~75歳	5	4		2	1			1
計	9	6	1	3	3	0	0	3

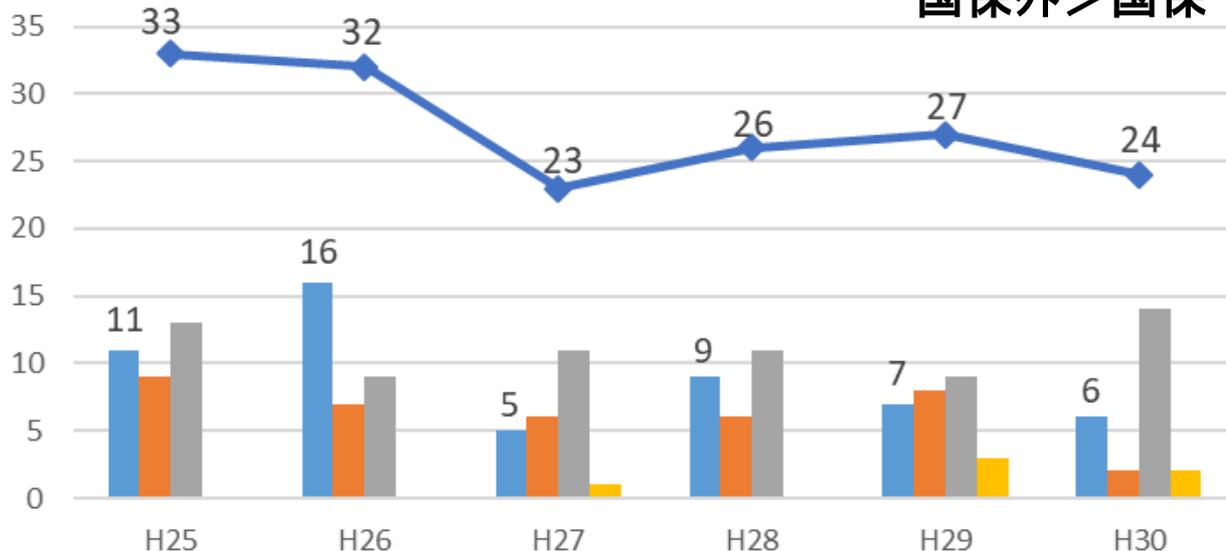
【事業評価】

- ・指導を実施した対象者においては、治療再開となった者や治療継続の実情を把握することができたため、令和2年度においても継続を考えている。
- ・対象者の中には認知機能低下のある対象者もあり、糖尿病療養指導士のみならず、多職種・他部門との連携が必要であると感じたため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業と関連付けて進めていく。
- ・指導が実施できなかった者においては、レセプト確認のみならず、訪問等での対応で生活状況の把握が必要である。

新規透析導入者の推移

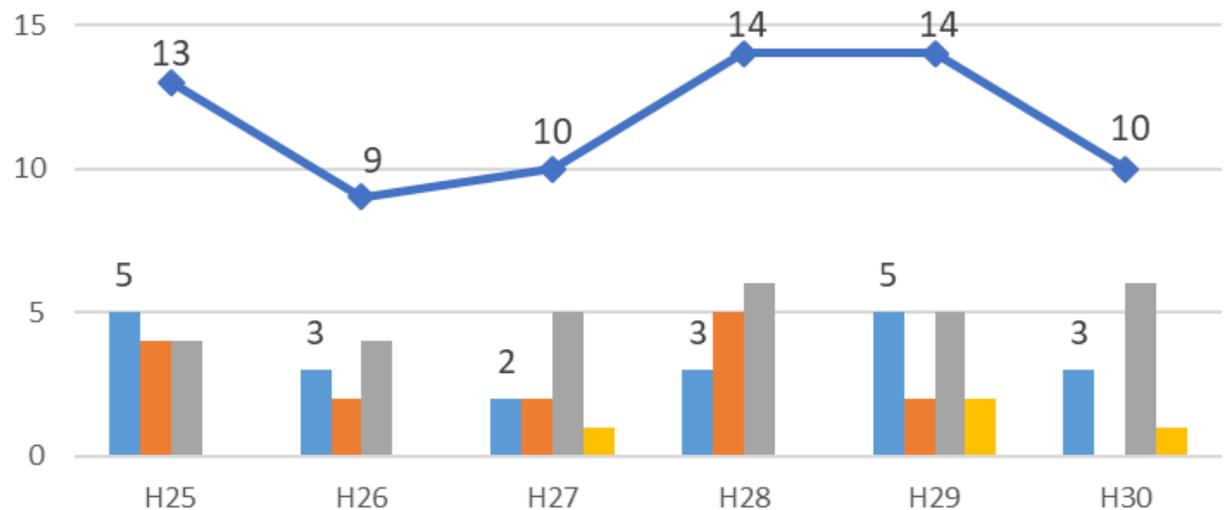
新規透析導入時の加入保険

国保外 > 国保



新規透析導入者は近年横ばいで推移しており、後期高齢者保険での加入者が多い。加入保険別にみると国保の者は減少傾向にある。

(糖尿病性腎症による透析のみ抜粋)



糖尿病性腎症による透析者は近年減少の傾向にある。上図と同様に後期高齢者の割合が高い。また、国保の者は増減を繰り返しているが、減少傾向である。

■ 国保 ■ 社保 ■ 後期 ■ その他 ◆ 合計

4. がん検診

《令和元年度の主な取組》

- ・検診料無料化：職場検診を受ける機会が無くなる年代である65歳(全がん)
がん好発年齢(子宮頸・乳・大腸)
 - ・医療機関での大腸がん検診の実施(18医療機関)
- 【がん検診の受診率・精検率の状況】 (国保抜粋)

		R1年					
		対象者数	検診受診者数	受診率	参考 H30 受診率	精密検査受診率	参考 H30 精検率
胃	X線	8,953人	940人	10.5%	11.6%	85.6%	82.4%
	内視鏡	1,997人	88人	4.4%	8.3%		
肺		8,953人	1,411人	15.8%	17.4%	92.9%	82.8%
大腸	集団	8,953人	1,355人	15.1%	17.6%	76.9%	74.6%
	施設		348人	3.9%	—	96.7%	—
乳		4,752人	823人	17.3%	18.9%	93.2%	93.0%
子宮頸		5,174人	649人	12.5%	13.1%	83.3%	83.3%
前立腺		3,367人	596人	17.7%	19.2%	82.4%	85.2%

- ・大腸がん検診において受診率が向上した。また、医療機関検診にて医師から精検勧奨することで、精検受診率が向上した。
- ・胃内視鏡がん検診及び集団検診の受診率が低下傾向にある。

5. 歯周病検診

《令和元年度の取組》

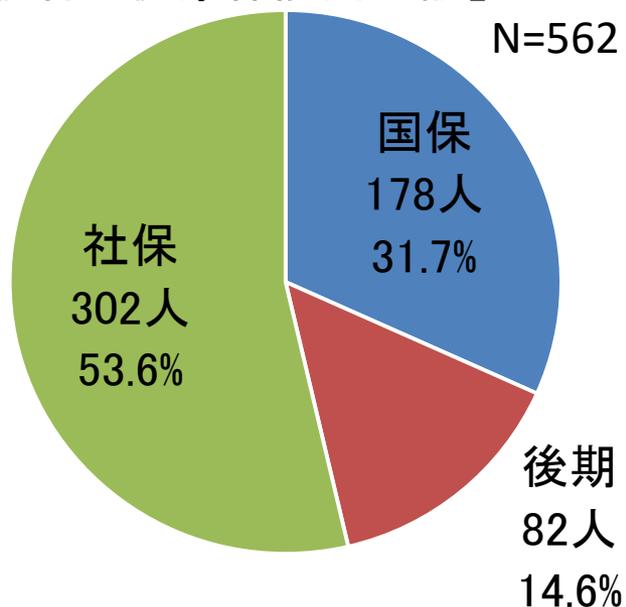
① 個別：歯周病検診（無料）の実施（26医療機関）

② 集団：歯と口の健康週間行事で特定健診と同時開催

H30年度 87人 → R1年度 562人受診

- ・個別通知（国保：13,369人）や世帯通知による歯周病検診の周知
- ・歯に関する健康づくりスローガンポスター作成

【受診者の健康保険別内訳】



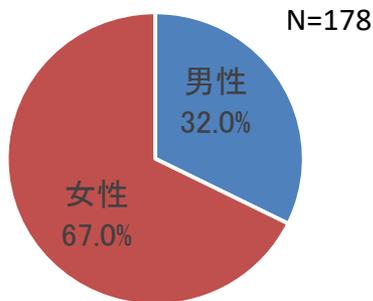
【健康保険別受診状況】

保険	対象者数	受診者数 受診割合
国保	13,369人	178人(1.3%)
社保	25,678人	302人(1.2%)
後期	11,684人	82人(0.8%)

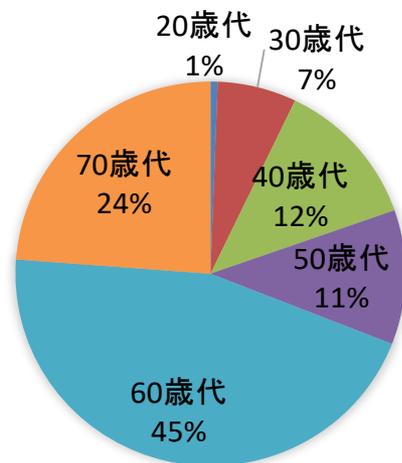
《令和元年度歯周病検診(国保)の実施状況》

集団検診(歯と口の健康週間行事): 19歳以上
歯科医療機関検診: 30歳以上

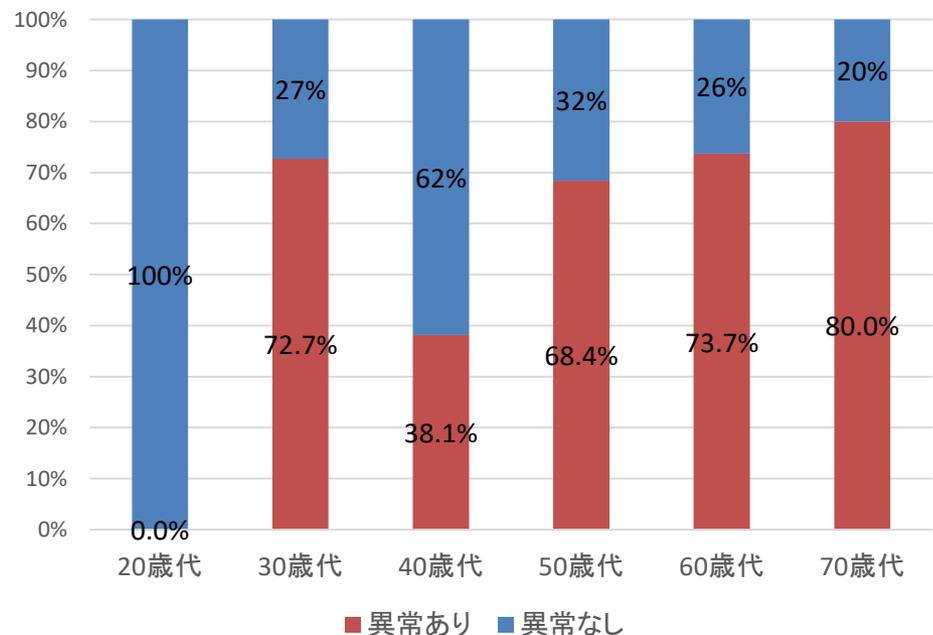
受診者の性別



受診者の年代別割合



歯周病検診結果



歯周病検診
受診結果



歯周病を有する者の割合は178人の内、123人が歯周病(69.1%)であった。また、30歳代や加齢とともに歯周病が増加している。

令和2年度の新たな取組

〈未受診者対策〉

①保健推進員協議会へ国保特定健診個別受診勧奨事業委託

〈事業委託の経緯〉

保健推進員協議会は各地区の特性に応じて、健診の必要性についての学習会の開催、ポスター掲示や有線放送・イベントや健康講座の際に地区住民への特定健診受診勧奨を行ってきた。

受診率が伸び悩む中、地区保健推進員から、国保の被保険者個々人に受診勧奨をした方が効果があるのではないかという声を受け、これまでの健康づくり事業に加え、国保特定健診個別受診勧奨事業を委託することとした。

令和2年度健康づくり推進活動事業仕様書

【目的】

加賀市国民健康保険被保険者に対し、健康意識の向上と健康の保持を図るため、被保険者自ら健康行動が行なえるよう、健康づくりを推進することを目的とする。

【事業内容】

(1)健康づくり事業

保健推進員が主体となって、加賀市民の健康意識の向上と健康の保持を図るための事業とする。

地区(地域)の健康実態に即した事業とするため、事業内容の目的について加賀市健康福祉部健康課の地区担当と協議の上、事業の展開に努めることとする。

(2)国保特定健診個別受診勧奨事業

国保特定健診未受診対象者(40歳65歳の未受診者約500人)を表示したリスト及び案内チラシを活用し、保健推進員が個別訪問による受診勧奨を行う。

実施の際には、加賀市健康福祉部健康課と協議の上、個人情報の保護に努め実施することとする。未受診対象者名簿及び個人情報に記載された受診勧奨チラシ残等は受診勧奨後速やかに、委託契約期間内に返却することとする。

<健診未受診者対策・重症化予防対策>

②高齢者の保健事業及び介護予防の一体化事業の実施

高齢者の特性を踏まえた効果的かつ効率的な高齢者の保健事業を、介護保険制度の地域支援事業や国民健康保険等保健事業と一体化に実施する

介護予防基本チェックリストを活用した、通院中の方からの検査データ提供
(介護予防基本チェックリストに同意欄を追加し、介護予防に加え、身体の状態も支援できる体制づくり)

70～74歳以上の国保被保険者

75歳以上の加賀市民（後期高齢者）

国民健康保険等保健事業

令和1・令和2年度において、①②どちらにも該当する者

- ①後期高齢者健康診査結果等において、糖尿病未治療者又は糖尿病治療中者等生活習慣病予防の高リスク者
- ②介護予防基本チェックリストにおける該当者(10点以上該当者等)

絞り込み

レセプト等により詳細な状況確認（治療や処方・受診行動）

支援プログラム 《地域包括支援センターランチ職員等による支援》

個別的支援

(ハイリスクアプローチ)

○医療面と生活面からサポートし、生活改善ができるよう支援

1回目：詳細なアセスメント、目標設定

2回目：目標達成状況確認、継続的な支援

3回目：事業評価・フォローアップ

通いの場等への積極的な関与 (ポピュレーションアプローチ)

○通いの場等を活用したフレイル予防の普及・促進

○通いの場等を活用した健康相談等の実施

○通いの場等を活用した健康状態等の把握

かかりつけ医 (内科、歯科等)

○かかりつけ医への受診勧奨

○かかりつけ医への相談

(支援の必要性・内容等)

○かかりつけ医への結果の報告

介護予防等の事業、地域の見守り等へつなぐ。

③重症化予防

健診結果等の受診勧奨判定値に該当する未治療者や予防可能な生活習慣病の治療中者や中断者に対して、国保被保険者以外の対象者も含め、ライフステージや健診結果等の判定区分に応じたきめ細かな保健指導を実施し、医療費適正化に繋げるため、以下の対象者へ保健指導を行う。

また、糖尿病治療中のハイリスク者や中断者においては重点的な保健指導を行う。

【対象者】

治療状況	判定区分	対象者			
		若年者 (19～39歳)	国保 (40～74歳)	生保	後期
未治療	※1(下表)の者	○	○	○	○
治療中	新 糖尿病性腎症Ⅱ・Ⅲ期と思われる者 (市から医療連携書発行)	○	○	○	○
	新 生活習慣病等の治療中かつ 主治医が保健指導を必要と認めた者 (主治医から 保健指導依頼書 発行)		○		
中断	糖尿病指導療養士等による糖尿病治療中断者		○		

※1 判定区分

項目	検査値	項目	検査値
収縮期血圧	160mmHg 以上	空腹時血糖	126mg/dl 以上
拡張期血圧	100mmHg 以上	随時血糖	200mg/dl 以上
尿蛋白	(++) 以上	HbA1c	6.5%以上
尿蛋白・尿潜血	ともに(+) 以上	LDL コレステロール	180mg/dl 以上
心電図(心房細動)	心疾患未治療者で 心電図検査異常判定値		

④糖尿病対策

高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業と連動し、若い世代から高齢者まで切れ目なく糖尿病の発症予防から重症化予防までの支援の強化を行う。

加賀市糖尿病対策全体像(イメージ)

健康

境界域

糖尿病発症

合併症発症

対象者

糖尿病発症予防対策

糖尿病重症化予防対策

国保以外

健康相談

定例 糖尿病予防健康相談の設定(毎月)

食学習(タニタ監修メニュー)

新 高齢者への医療専門職による保健指導

運動施設無料券(5回)

新 高齢者の通いの場における歯科衛生士による個別指導

健食健歩手帳

国

健診結果説明会

運動施設無料券(5回)

健診項目

HbA1c

Cre全員実施

市職員による特定保健指導

医療連携保健指導(要医療返書)

医療機関における特定保健指導

糖尿病療養士(病院)による指導

食学習(タニタ監修メニュー)

食学習(タニタ監修メニュー)

血糖自己測定器での学習

保

基盤整備

○KAGA健食健歩プロジェクト(ラジオ体操・ウォーキング・タニタ健幸くらぶ・健幸ポイント)

糖尿病予防ウォークラリー、パネル展示

○健康教育(KAGA健康フェスタ、かもまる講座、糖尿病週間行事、健幸長寿講座)

○資質向上(県主催研修会・加賀市糖尿病協議会、**新** 介護保険事業所等)